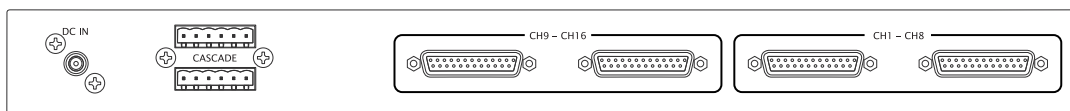
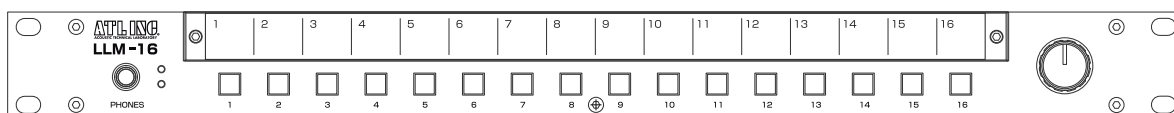


# ラインレベルモニター **LLM-16**

## 取扱説明書



## 安全上のご注意

ここでは、本機をご使用になる上での安全に関する項目を記載してあります。あなたや他の人々へ与える危害や、財産などへの損害を未然に防止するため、ここに記載されている事項をお守りいただくものです。本機をご使用の前には必ずお読みください。



警告

この表示の欄に記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄に記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警告

### 異常が発生した場合

万一煙りが出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに機器本体の電源を切り、電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常がなくなったことを確認してATL-KYOEIへ修理を依頼してください。お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。

電源ケーブルのケーブルが断線、芯線の露出など、ケーブルが傷んだ場合には、ATL-KYOEIへ修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜く

万一、機器を落としたり、カバーを破損した場合には、すぐに機器本体の電源を切り、電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いて、ATL-KYOEIへ修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

機器内部に水や異物が入った場合には、すぐに機器本体の電源を切り、電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いて、ATL-KYOEIへ修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



禁止

### 設置する場合

機器本体に直接水のかかる場所には置かないでください。火災・感電の原因になります。特に屋外での使用（雨天、降雪時、海岸、水辺）にはご注意ください。製品本体の上に花瓶、コップや水などの入った容器、または小さな金属物類を置かないでください。何らかの理由で水がこぼれたり、中に金属物が入ったりした場合、火災・感電の原因になります。また、高温・多湿の場所では使わないでください。



分解禁止

### 使用する場合

本機の分解・修理・改造は絶対にしないでください。また、本体カバーは絶対外さないでください。火災・感電の原因になります。



注意

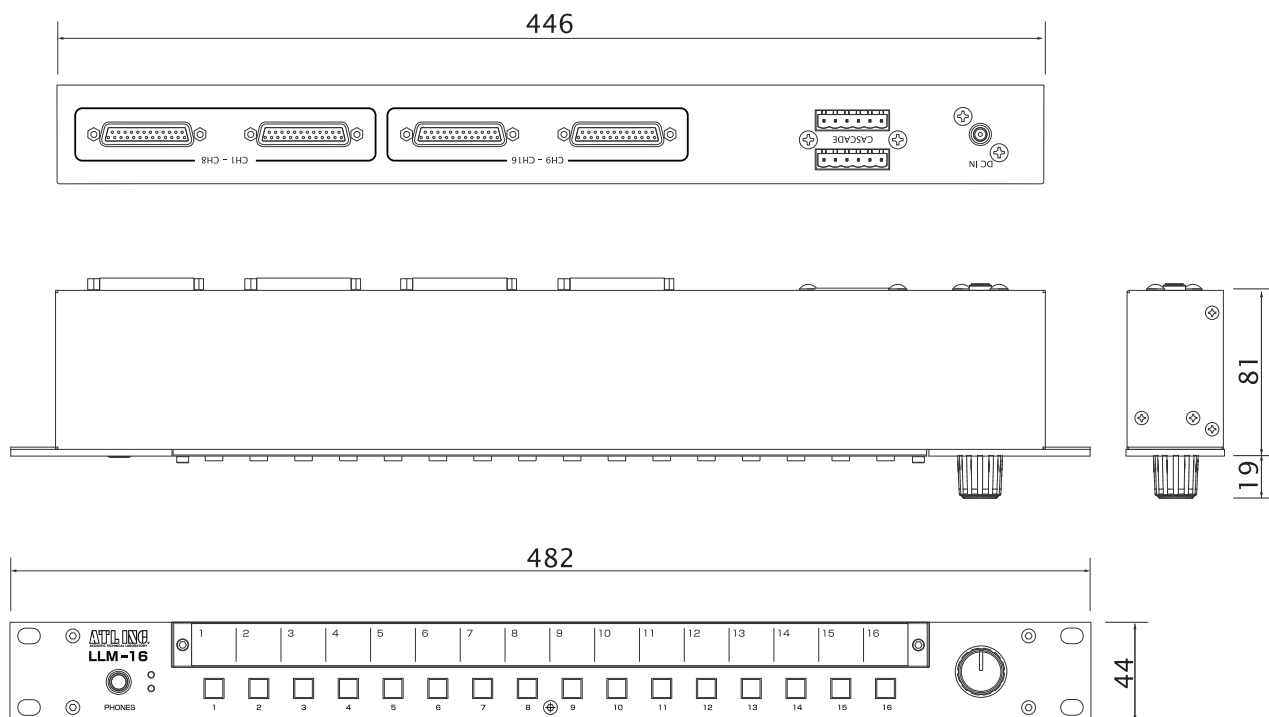
付属の電源ケーブル以外使用しない。それ以外の接続ケーブルは、出来るだけ高品質なものをお使いください。

電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。火災・感電の原因になります。

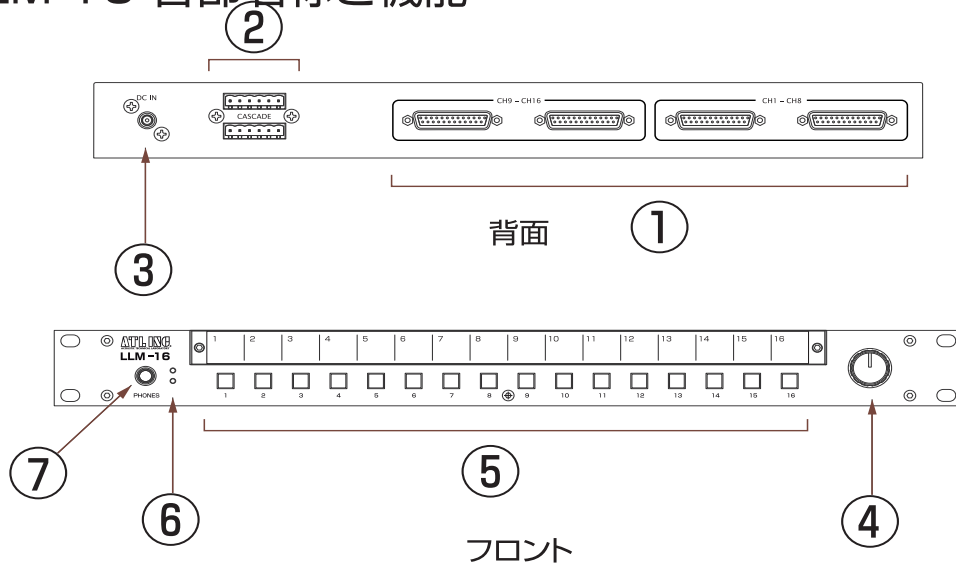
## LLM-16 主要規格

オーディオ入出力	: D-sub 25 ピンコネクター : 標準 Dsub25-8chXLR アナログ信号変換ケーブルに対応
ヘッドフォン	: 標準フォンジャック (Φ 6.3)、出力 100mW
カスケード	: ユーロブロック端子 6 ピン (ユーロブロックプラグ 2 ヶ付属)
電源	: DC6V 2.5A
外形寸法、重量	: 482(W)x44(H)x81(D)mm、1.5kg

## LLM-16 寸法図



# LLM-16 各部名称と機能



## ① オーディオ信号入出力コネクター 1～16ch

検聴しようとする信号 16 チャンネル分を、この D-sub25 ピンケーブルを經由して LLM16 に入れます。標準 D-sub25-8chXLR アナログ信号変換ケーブルに対応しています。1ch-8ch、9ch-16ch の 2 ブロックにわかれており、それぞれのブロックの D-sub はパラ接続されていますので、XLR オス及びメスの分岐ケーブルを使用することで信号を接続先に送り出します。D-sub25 ピンの配列表は以下のとおりです。なお D-sub の取り付けネジは、#4-40 UNC(inch) です。

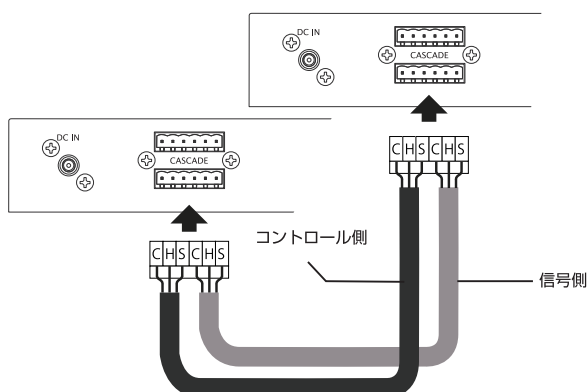
D-sub 25 ピン番号

信号 ch	ホット	ゴールド	G
ch 1	24	12	25
ch 2	10	23	11
ch 3	21	9	22
ch 4	7	20	8
ch 5	18	6	19
ch 6	4	17	5
ch 7	15	3	16
ch 8	1	14	2

NC: 13ピン

## ② カスケード用コネクター (ユーロブロック 6 ピン端子)

LLM-16 を複数台使用して、16ch 以上の信号を一つのヘッドフォンにて検聴するためには、このコネクターを使って LLM16 をカスケード接続します。



カスケードケーブルはシールド線をご使用ください。

左図、S: シールド、H: ホット  
C: コールドを示します。

カスケード接続した場合、電源アダプターを接続した LLM-16 がマスターとなり⑥の上側緑色 LED および下側黄色 LED が点灯します。スレーブ接続された LLM-16 は⑥の上側緑色 LED のみ点灯します。

マスターとなった LLM-16 のヘッドホンのみで、スレーブ機を含むすべてのチャンネルを切替検聴できます。マスター以外のスレーブ機には、カスケードケーブルを通して、電源が供給されます。LLM-16 は、カスケード接続により最大 96ch 分 (LLM-16 6 台) の信号をマスターのヘッドホンで検聴できます。

### ③ 電源コネクタ DC6V/2.5A

付属の DC 電源アダプターの出力端子を入れます。電源が供給されたマスター機は、⑥の下側黄色 LED が点灯します。

### ④ ヘッドホンボリューム

ヘッドホン出力をコントロールします。

### ⑤ 検聴ボタン

検聴しようとするチャンネルのボタンを押すと、自照しヘッドホン端子から検聴信号を聞くことができます。検聴は 1 つのチャンネルのみ可能で、同時に複数チャンネルを聞くことはできません。

### ⑥ 動作 LED

上側の緑色 LED は、スタンバイとなっていることを示します。マスター、スレーブともにスタンバイ状態で点灯します。

下側の黄色 LED は、電源アダプターが接続されたときに点灯し、マスターとなりスレーブ機を含む接続されたすべてのチャンネルをこのヘッドホンで検聴することができます。

### ⑦ ヘッドホン端子

検聴信号を聞くためのヘッドホン端子です。Φ 6.3 のステレオ標準フォーンジャックで、最大出力 100mW です。

# LLM-16 Manual